

講習会「建築保全標準(鉄筋コンクリート造建築物)」

【期間限定オンデマンド配信】

主催 日本建築学会 材料施工委員会 改修工事運営委員会

後援 (予定) 東京建築士会、東京都建築士事務所協会、日本建設業連合会、日本建築家協会、日本建築士会連合会、日本建築士事務所協会連合会、日本建築構造設計事務所協会連合会、日本建築構造技術者協会、全国建設業協会、公共建築協会、建築保全センター、日本建築センター、ロングライフビル推進協会、日本コンクリート工学会、土木学会、セメント協会、全国生コンクリート工業組合連合会、日本鉄鋼連盟、全国鉄筋工事業協会、鉄鋼スラグ協会、日本フライアッシュ協会、日本鉄筋継手協会、コンクリート用化学混和剤協会、人工軽量骨材協会、仮設工業会、全国コンクリート圧送事業団体連合会、日本建築仕上材工業会、プレハブ建築協会、日本建築仕上学会、日本材料学会、日本建築防災協会、都市再生機構、プレストレストコンクリート工学会、日本塗装工業会、日本塗料工業会、全国防水工事業協会、日本左官業組合連合会、全国タイル業協会、外壁複合改修工法協議会、機能性外壁改修工業会、全国ビルリフォーム工事業協同組合、全日本外壁ピンネット工事業協同組合、日本樹脂施工協同組合

主旨

資源・エネルギーの大量消費や環境問題等を背景として、従来のフロー型社会から脱却して「よい建築物をつくり、きちんと手入れして、長く大切につかう」ストック型社会への移行が求められている。

日本建築学会材料施工委員会は主要な活動として、日本建築学会建築工事標準仕様書・同解説(JASS)を制定および改定してきた。JASSは新築工事を対象としており、点検、調査・診断、補修・改修設計、補修・改修工事の部分に関しては、規準や標準仕様書の整備が遅れていた。

一方で、材料施工委員会は、建築保全へのニーズの高まりに対応して『建築物の調査・劣化診断・修繕の考え方(案)・同解説』(1993)、『外壁改修工事の基本的な考え方(湿式編)』(1994)、『鉄筋コンクリート造建築物の耐久性調査・診断および補修指針(案)・同解説』(1997)、『外壁改修工事の基本的な考え方(乾式編)』(2002)、『建築物の改修の考え方』(2002)、『建築物の調査・診断指針(案)・同解説』(2008)、『内外装改修工事指針(案)・同解説』(2014)等の指針類を発刊してきた。

このような指針類の整備と並行して、2007年度日本建築学会大会で材料施工部門研究協議会「維持保全技術の現状と今後の課題」が開催され、材料施工委員会が保全技術の標準化に対する取り組みをより一層進めること、補修・改修工事に関する標準仕様書等を検討する時期にきていること等が指摘された。2011年度からは「改修工事運営委員会」を設置し、傘下に「維持保全計画・保守点検小委員会」「調査・診断小委員会」および「改修設計・改修工事小委員会」を設置して、具体的な規準および標準仕様書の作成に着手した。そして、このたび「JAMS 1-RC 一般共通事項・同解説」「JAMS 2-RC 点検標準仕様書・同解説」「JAMS 3-RC 調査・診断標準仕様書・同解説」「JAMS 4-RC 補修・改修設計規準・同解説」「JAMS 5-RC 補修・改修工事標準仕様書・同解説」から構成される「建築保全標準・同解説(RC造建築物)」を刊行した。

プログラム

配信期間：2021年3月12日(金)～3月18日(木)					
講義時間	40分	40分	100分	80分	50分
講義内容	JAMS1 主旨／一般共通事項	JAMS2 点検標準仕様書	JAMS3 調査・診断標準仕様書	JAMS4 補修・改修設計規準	JAMS5 補修・改修工事標準仕様書
講師	本橋健司(建築研究振興協会)/鹿毛忠継(建築研究所)	鹿毛忠継(前掲)	野口貴文(東京大学)/濱崎仁(芝浦工業大学)/近藤照夫(ものつくり大学)/奥石直幸(早稲田大学)	濱崎 仁(前掲)/近藤照夫(前掲)/奥石直幸(前掲)	黒田泰弘(清水建設)/近藤照夫(前掲)/奥石直幸(前掲)

※司会は兼松学(東京理科大学)が行います。講義時間・講師は都合により変更となる場合がございます。

<留意事項>

- ①本講習会は、株式会社ネットラーニング提供の「ラーニングチューブ」を利用した動画配信です。
- ②受講にはPCやタブレットなどの端末と、インターネット環境が必要です。
- ③株式会社ネットラーニングのWebサイト(<https://www.netlearning.co.jp/about/>)で、受講の推奨環境と、現在ご利用中の端末の動作環境を確認することができます。
- ④配信映像や講義資料の保存(画面キャプチャ、カメラ撮影等)、録音、再配布は禁止です。
- ⑤配信映像を申込者本人以外または複数人で受講することを禁止します。各人でお申し込みください。
- ⑥配信期間終了後の受講は一切できません。
- ⑦申込時に入力された個人情報の一部を株式会社ネットラーニングに提供させていただきますが、本講習会についてのご案内以外の目的には利用いたしません。

本書は、日本建築学会が初めて刊行する建築保全に係る規準および標準仕様書である。技術者各位におかれましては、奮ってご参加ください。

参加費 ※テキスト代含む

1. 日本建築学会会員 16,500円
2. 後援団体会員 18,500円
3. 上記以外 21,500円

テキスト

- ・『建築保全標準・同解説 JAMS 1-RC 一般共通事項/JAMS 2-RC 点検標準仕様書』 B5判、約50頁
- ・『建築保全標準・同解説 JAMS 3-RC 調査・診断標準仕様書』 B5判、約200頁
- ・『建築保全標準・同解説 JAMS 4-RC 補修・改修設計規準/JAMS 5-RC 補修・改修工事標準仕様書』 B5判、約180頁

配信開始までに、申込時に入力・指定された[配送先]へお送りいたします。なお、[配送先]は国内限定とさせていただきます。

配信期間

2021年3月12日(金)～3月18日(木)

(申込期限：2月19日(金))

→ 2月22日(月)正午まで

申込方法・参加費支払い方法

クレジット決済によるWeb申込みのみとなります。以下の本会Webサイト「催し物・公募」ページからお手続きください(本誌に掲載の「講習会参加申込書」は、本講習会の申し込みにはご使用できません)。

<https://www.aij.or.jp/event/list.html>

※お申込み後の返金や、他講習会等への振り替えはできません。本ページ下部の「留意事項」に記載の受講者推奨環境等を事前にご確認のうえお申し込みください。

※領収書は別途お送りいたします。

受講方法

受講者には、お申込み時に登録したメールアドレス宛に(会員の方はサインインしたメールアドレス宛に)、ID・パスワード等の受講に必要な情報を配信開始前日までにお知らせいたします。配信期間内は何度でも受講が可能です。

問合せ

日本建築学会「建築保全標準」講習会係

〒108-8414 東京都港区芝 5-26-20 Tel. 03-3456-2057

<https://www.aij.or.jp/>